

2025年度 資料編集委員会		資料委員会では、4つのテーマについて人権学習の際にどんな教材・絵本が使われているか、部会員の所属や都市を中心に調べました。よく使用されているもの、新しく出版された絵本などを中心に一覧表を作成し、授業に取り組みました。				
	教材名	作者	出版社 (出典)	対象学年	内容・テーマ	「なかま」 「なかまとともに」との関連
部 落 問 題 学 習	せいそうしゃのおじさん	奈良県同和教育研究会 奈同教研究推進委員会 就学前教育部会	幼児用なかま	就学前 小学校	【地域の仕事や人々の生活・偏見について考える】 この物語はかずちゃんのお父さんについて、かずちゃんの友達のただし君の視点から描いた物語である。ごみ収集の音が聞こえてくると、ガチャーンとドアを閉めたり、2階からごみ袋を捨てたりする人がいて、悲しくなるそうだ。また、重いごみ袋をいくつも、いくつも車の中に入れるので、腰を痛めることもあるそうだ。その話を聞いて子どもたちは「何か私たちにできることはないかな?」とそれぞれに考えることにした。 ゴミの取り組みを通して、自分たちの身の回りをきれいにすることに関心をもち、自分たちで何ができるかを考える。地域をきれいにしてくださっている仕事に関心をもち、感謝の気持ちを育てる教材。	「なかま」 「なかまとともに」の関連 「なかま」中学年 ごみとりの仕事に行った
	あしなが	あきやま ただし	講談社	就学前 小学校	【偏見について考える】 ノラ犬のケン、「あしなが」についての噂を信じて「最低のやつ」と決めつけていたが、「あしなが」の本当の姿を知って変わり始める。 噂や思い込み、偏見で決めつけることなく、自分が直接関わることが本当の姿を知ることの第一歩であるという話。	「なかまとともに」! あの子 「なかま」中学年 島ひきおに
	映画『破戒』	全国水平社創立100周年記念映画製作委員会	東映	中学校 高校	【人権確立の歴史】 自分の出自を隠して生きる、被差別部落出身の小学校教師の葛藤を描く。島崎藤村の同名小説の映画化。 主人公の苦悩と決断を通して当時の差別構造について知るとともに、部落問題について考えることができる。	「なかま」小学校高学年・中学校 人の世に熱あれ人間に光あれ 「なかま」中学校 部落の歴史と解放への歩みⅠ、Ⅱ
	その時歴史が動いた 人間は尊敬すべきものだ ～全国水平社 差別との闘い～	NHK	NHK ティーチャーズ ライブラリー	中学校 高校	【人権確立の歴史】 前半では、出自を隠して生きてきた西光万吉が、葛藤を乗り越えて差別撤廃に向き合い、仲間とともに「水平社宣言」を出すまでに至る姿を描く。後半は、被差別部落出身の井上ハツミさんが、過去に自分が実際に受けた結婚差別について話すインタビューになっている。 現在も続く部落差別の実態を知り、部落問題について考えることができる。	「なかま」中学校 人権確立と共生の時代へ 「なかまとともに」中学校 明日を創る! 牛のかたき打ち
多 文 化 共 生	せかいのあそびをしよう	なかまとともに	奈良県教育委員会	小学生 低学年	【様々な国の文化や生活にふれる】 子どもたちの身近な遊びを通して、異文化理解のきっかけとする。コンピュータやゲームの普及により、世界の子どもたちの遊びに差異が少なくなってきたことも考えられるが、各国や地域の昔の遊びを体験し、異文化に対する豊かな出会いにしていける教材。	「なかま」小学校低学年 であえる といいね 「なかま」小学校低学年 アプロ
	ええやんそのまま	ドッドパール作 つだゆうこ訳	(株)解放出版社	就学前～ 高校生	【互いの違いを認め合い尊重する】【相手を思いやり望ましい人間関係を形成】 「ええやん そのまま」という絵本の中の言葉から自分では失敗や短所だと思えるところを認めることを通して、自分や他者の有り様をそのまま受けとめることについて考える。「人と違う」ことを自分自身も認め、周りに対しても認め合い、尊重できる姿勢について考える教材。	「なかま」中学校 「ちがう」こと、バンザイ?! イルム一名前— 「なかまとともに」中学校 私を語る 10の言葉 外国人にとって暮らしやすい社会を
	やさしい日本語三文トレーニング	吉開 章	駒草出版	小学生～ 高校生	【異文化交流のための基本的な考え方】【多様性の理解】 これからの多文化共生社会に向けて、「英語が出来ない自分が外国人と仲良くできるわけがない」という思い込みを改め、外国人とやさしい日本語でのコミュニケーションを通じて外国人との接し方に自信を持つためのヒントとなる教材。国際交流だけでなく、広く情報弱者のために役立つ教材にもなる。	「なかま」中学校 「ちがう」こと、バンザイ?! イルム一名前— 「なかまとともに」中学校 私を語る 11の言葉 外国人にとって暮らしやすい社会を

性の多様性	タンタンゴはパパふたり	ジャスティン・リチャードソン、ピーター・パーネル(文)	すずき出版	小学校中学年～高校生	【家族や仲間の多様性の理解】【違いを認め合い安心して生きること】【思いやり・支え合いの大切さ】 ニューヨーク動物園の実話をもとにした、オスのペンギン2羽が卵を育てて親になるお話。「家族のかたちは一つではない」ことに気づくことができる教材。	「なかま」小学校高学年・中学校 かぞくのかたちと愛情 「なかまとともに」中学校 多様な家族とともに共に生きる
	カラフルな世界で	井手上 漢	日本文教出版	中学生	【向上心・個性の尊重】 作者が中学時代に性別の悩みを母に打ち明けたことをきっかけに自己を肯定できるようになった。自分らしく生きる大切さを伝える教材。	「なかまとともに」中学校 セクシュアル・マイノリティにとって暮らしやすい社会を
	わたしはあかねこ	サトシン(作) 西村敏雄(絵)	文溪堂	就学前～小学校低学年	【多様性の理解・自己肯定感の向上】 主人公は赤い猫。他のみんなと違う色だけど、自分の赤い色が好き。「自分を好きになることが生きる礎になることを表現したかった」という作者の言葉通り、人の多様性を理解し、自己肯定感をはぐくむ教材。	「なかま」小学生低学年 かみひこうき 「なかまとともに」小学生 多様性に対する肯定的評価
	王さまと王さま	(絵と文) リンダ・ハーン スターン・ナイラ ンド (訳) アンドレア・ゲルマー 眞野豊	ポット出版	小学生	【個性の尊重】 女王さまが王子さまの結婚相手を探すため世界中の国からお姫さまを集めました。王子さまが恋に落ちたのは・・・オランダで生まれ、世界各国で翻訳されているLGBTをテーマにした絵本。	「なかま」小学校低学年 かみひこうき 「なかまとともに」 かぞくだいすき
反戦平和	おひさまとおつきさまのけんか	せなけいこ	ポプラ社	就学前～小学校低学年	【相手を分かり合うことの大切さ】 ある日、けんかをしたおひさまと、おつきさま。ふたりの仲はどんどん悪くなり……。争いがどうして起きるかを考えさせられる絵本。	「なかまとともに」I さるとかに
	へいわってどんなこと?	浜田桂子	童心社	就学前～小学校低学年	【安心して毎日をすごせることの大切さ】 日常の中で感じられる平和が描かれている。戦争や争いがなければ、家族や友だちと安心して暮らせるという、当たり前前の幸せの尊さを教えてくれる絵本。	「なかまとともに」I いのちのおと
	戦争をやめた人たち	鈴木まもる	あすなろ書房	小学校高学年～中学生	【平和について考える】 第一次世界大戦中の実話を元にした絵本。最前線で戦う兵士たちが心身ともに疲れ切った中、聞こえてきたクリスマスソング、兵士の誰もが望んでいない戦いの中起きた、一日だけの前線だけの休戦。 国同士は戦争していても兵士たちは本心では戦いを望んでいない、兵士の心を読み取る教材。	「なかまとともに」中学校 世界の平和のために
	へいわとせんそう	谷川俊太郎	ブロンズ新社	小学校低学年～小学校高学年	【あたりまえの尊さ】 同じ人や物や場所を見開きごとにくらべると、平和と戦争のちがいがみえてくる。当たり前前の日常の尊さを感じるとともに、戦っている「味方」も「敵」も、同じ人間であることに気づかせてくれる絵本。	「なかまとともに」2 ともだち
	海をわたった折り鶴	石倉欣二	小峰書店	小学校中学年～小学校高学年	【平和について考える】 「原爆の子の像」の少女のモデルである、広島で被爆し、12歳で亡くなった佐々木禎子(さだこ)さんと、彼女が折り続けた折り鶴が世界へ広がっていく軌跡を描いた物語。 戦争が終わった後も病によって命を落とす理不尽さと、それでも懸命に生きようとしたさだこさんの姿。「平和をつくっていくためにできることは何か」について考える本。	「なかま」小学校高学年 ヒロシマの心をみんなの心へ 「なかまとともに」2 INORI～祈り～